

# 昭島市立中学校 特別支援教室

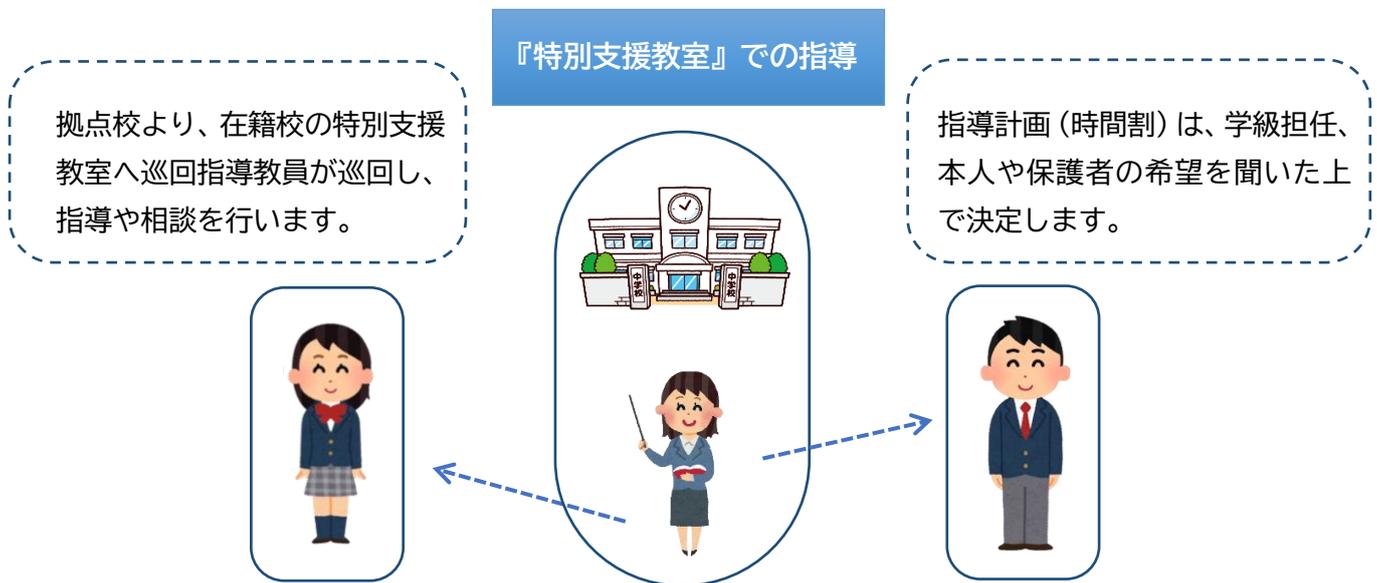
## ご利用のしおり

令和7年4月1日版

★昭島市では令和3年度より、市内の全中学校に『特別支援教室』が設置されました。  
各校の教室の名称は、以下の通りです。

瑞雲中学校 (拠点校)	昭和中学校 (巡回校)	福島中学校 (巡回校)	清泉中学校 (巡回校)	拝島中学校 (巡回校)	多摩辺中学校 (巡回校)
ずいうん教室	こぼと教室	ふくじま教室	いずみ教室	拝島教室	しらさぎ教室

★生活の中で様々な困難さを感じている生徒が、それぞれの課題に向き合い、改善・克服への意欲をもって充実した学校生活を送ることができるよう、『特別支援教室』では、連携型個別指導計画に基づいた丁寧な指導を実施します。



★巡回指導教員は、特別支援教室で指導するほか、他の生徒の授業観察や学級担任への助言なども行います。特別支援教室設置校には東京都より特別支援教室専門員の配置や、臨床発達心理士の巡回もあります。

ご質問、ご相談等のお問い合わせは、各学校にご連絡ください。

瑞雲中学校 ☎ 042-544-6511	昭和中学校 ☎ 042-541-0065
福島中学校 ☎ 042-541-2940	清泉中学校 ☎ 042-541-0662
拝島中学校 ☎ 042-541-1040	多摩辺中学校 ☎ 042-545-5501

## □ 特別支援教室 職員体制

令和7年度は巡回指導教員10名、各学校に特別支援教室専門員1名が配置されます。

<巡回指導教員> 主任教諭 五日市 大樹（特別支援教室主任） 主任教諭 是枝 義行 教諭 秋葉 脩平 教諭 引間 千晴 教諭 桐澤 朝陽 教諭 井上 里恵 教諭 佐藤 慧美 教諭 河邊 典之 教諭 中西 功大 教諭 前田 依吹					
<特別支援教室専門員> 瑞雲中学校 鈴木 典子 昭和中学校 山崎 みどり 福島中学校 梶原 初恵 清泉中学校 浦田 千代子 拝島中学校 南 麻沙美 多摩辺中学校 古賀 玲子					

勤務配置	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
瑞雲中	—	○	○	○	○
昭和中	○	○	—	—	—
福島中	○	○	—	○	○
清泉中	○	—	○	○	—
拝島中	○	○	○	—	○
多摩辺中	—	○	○	○	—

※生徒の増減に伴い、年度途中で勤務配置が変更になる場合があります。

## □ 特別支援教室の方針

- (1) 一人一人の生徒の課題や特性に応じた「連携型個別指導計画」を作成して指導を行います。
- (2) 情緒の安定を図り、自己理解を深め、自分を大切にできる気持ちを育てます。
- (3) 小集団指導の中で、コミュニケーション能力や社会性を育てます。
- (4) 「分かる喜び」、「できる自信」を経験することを通して、学習意欲や集団参加への意欲を高めます。
- (5) 家庭、在籍学級、外部機関等との連携・連絡を行います。  
 ※保護者の方と担任の先生に通室日誌を回覧し、教室での様子や成果をお伝えします。
- (6) 年に2～3回程度、保護者の方と巡回指導教員で面談を行います。  
 ※面談の詳細については改めてご連絡いたします。

## □ 特別支援教室への入室を希望するときは

まずは、在籍校の担任の先生や特別支援教育コーディネーターの先生とご相談ください。

## □ 特別支援教室へよくいただくご質問

Q1. どんな生徒が対象ですか？

A1. 知的の発達には遅れがなく、通常の学級の授業におおむね参加できているが、

- ・相手の気持ちを理解すること、自分の感じたことを言葉で表現するのが苦手。
- ・急な予定変更や、初めての場所、初めての物事が苦手。こだわりが強い。
- ・集中力が長く続かない反面、夢中になると切り替えが難しい。
- ・学習面で得意、不得意の差が大きい。(例：計算はできるが、文章問題だと難しい)

など情緒面、社会性に課題のある発達障害のあるお子さんが対象です。どんなお子さんでも得意なこともあれば、苦手なところもあります。少人数や個別で学ぶほうが、より自信をもって個性を発揮できたり、力を伸ばせたりするタイプのお子さんもあり、その特性に合わせた学びの環境の一つが、『特別支援教室』です。『特別支援教室』では、巡回指導教員が個別の教育相談や進路相談にも応じます。心配なことがあれば、いつでもご相談ください。

Q2. 利用するために必要な手続きを教えてください。

A2. まずは、在籍学級の担任の先生とご相談ください。お子さんの課題や目標について学校と保護者と共有していきます。相談の結果、特別支援教室の利用が適していると判断された場合は、教室の見学や体験（2時間程度）、巡回指導教員や心理士による授業観察などを経たのち、教育委員会が開く判定委員会で利用の可否を審議します。判定委員会では判断の資料として、お子さんの発達検査の結果をご提出いただきます。また、審議の結果、利用が認められない場合もあります。あらかじめご了承ください。

Q3. 拠点校に通室して指導を受けるのでしょうか？

A3. 特別支援教室の導入の大きな理由として、授業を抜けて拠点校へ通う生徒の負担を軽減することが挙げられています。このことから、自校の特別支援教室に通っていただくことを原則としています。他校に通わなければならない理由がある場合は、まずは、在籍学級の担任の先生にご相談ください。

Q4. 特別支援教室での指導を受けるために抜けた授業の補習はどうなりますか？

A4. 学校では、特別支援教室での指導を受けるために抜けた授業の補習はいたしません。各ご家庭でお子さんに応じて補っていただくことが基本となります。特別支援教室では、障害が原因で生じる学習上の困難に対する自立活動の指導を行うため、単なる予習や復習等の学習の場ではないことをご留意ください。指導を受ける曜日や時間等については、在籍学級担任や巡回指導教員ともよくご相談ください。

## □ 特別支援教室では、こんなことを学びます

- ・生徒一人一人の課題や在籍学級での適応状態などを踏まえて、指導目標を設定します。
- ・自立活動の指導の他にも、必要に応じて個別に教育相談や進路相談を行います。
- ・特別支援教室の学習内容を担任の先生と共有し、在籍学級での指導や支援に活用します。

個々の障害による、学習上または生活上の困難を改善したり克服したりするための方法を習得することを目的とする指導です。

### 自立活動

#### コミュニケーションの指導

個別、小集団指導を通して、言語能力を高め、友達とよりよいコミュニケーションをとるための方法を習得できるように指導します。

#### 情緒の安定・自己理解の指導

振り返りの活動を通して、「できたこと・できなかったこと」を理解し、自分で受け入れることができるように指導します。

### 例

#### 人間関係の形成の指導

SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通して、社会性を育み、対人関係や集団参加するための方法を習得できるように指導します。

#### 身体の動き、協調運動の指導

粗大運動、微細運動、体幹トレーニングを通して、体づくりの指導や眼球運動、空間認知、環境認知の指導をします。

### 教科的な内容を取り扱う自立活動

いわゆる補習や復習とは違い、一人一人の特性によるつまずき、苦手なところに特化した指導です。どんな方法なら理解できるのかを、生徒と一緒に考えます。

#### 授業への参加が難しくなる要因

- 状況理解（情報整理・社会性）
- 見通し（時間・行動）
- 学習意欲（意味理解・価値付け）
- 集中力（刺激・環境調整）

#### 理解する（分かる）ことが難しい要因

- 認知の偏り
- 学習スタイル
- 複数作業の苦手さ
- 曖昧さの理解、イメージ力の弱さ
- 短期記憶の弱さ

### 例

#### 国語的内容（読み書き）

- ・言葉の意味を理解するための指導
- ・漢字の覚え方の指導
- ・物語文全体を視覚的に捉える指導
- ・心情理解のための指導
- ・説明文の内容理解のための指導

#### その他

- ・学習方法の提案/改善
- ・学習計画表の立て方の指導
- ・計算能力など算数技能を高める指導
- ・総合的な学習の時間の調べ学習やまとめ、発表の支援

※学校行事などが通室日に当たっていた場合、原則は在籍学級の授業に出席します。  
例：学期の始めと終わり、健康診断、定期考査、考査直前（1週間前程度）、体育大会、合唱祭、校外学習（事前指導も含む）、行事の練習準備、学年行事、その他（学級からの要請によるもの）